

応募用紙

締切:2016年5月13日(金)5:00PM必着

ふりがな 氏名	性別		生年月日
	男性	女性	19 年 月 日
本人 ご住所	〒 Emailアドレス:		TEL:() - FAX:() -
所属 学校名	教科・学年		
	校務分掌		
学校 住所	〒		TEL:() - FAX:() -
<p>下記事項をまとめて本応募用紙に添付して下さい。(A4用紙2枚以内)項目ごとに具体的・簡潔に記述して下さい。「さらに授業案等を添付する場合は2枚以内、実践者が分かるよう記載し、添付資料はあくまでも参考程度で、下記事項を選定基準といたします」</p> <p>1. 氏名 2. 研修への応募動機と研修に期待すること 3. これまで国際理解教育や開発教育について自身で取り組んできたことやその成果 4. 本研修を今後教育現場にどのように活かしていくのか(研修還元計画A4用紙1枚程度)</p>			
本研修の過去の申込経験		海外渡航の活用経験	
<input type="checkbox"/> ある ____年 ____年 <input type="checkbox"/> ない		<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない 年 国名 _____ 目的: 年 国名 _____ 目的:	
JICA事業の経験			
JICAの国際理解教育・開発教育との関わり 事業名: <input type="checkbox"/> 国際理解教育指導者養成講座 ____年 <input type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目 <input type="checkbox"/> ファシリテーター経験有 <input type="checkbox"/> 訪問学習 ____年 <input type="checkbox"/> 出前講座 ____年 <input type="checkbox"/> その他 ____年(事業名: _____) <input type="checkbox"/> なし 内容: <input type="checkbox"/> 研修員との交流 <input type="checkbox"/> 協力隊等JICAボランティア体験談 <input type="checkbox"/> ワークショップ(名称: _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)			
JICA以外の国際理解教育・開発教育との関わり(ワークショップ参加やファシリテーター、途上国の経験などを具体的に)		写真 3×4cm~ 3.5×4.5cm デジタル可	
語学レベル	<input type="checkbox"/> 堪能 <input type="checkbox"/> 中級程度の会話 <input type="checkbox"/> 簡単な会話 <input type="checkbox"/> 自己紹介程度 <input type="checkbox"/> 殆ど出来ない		
アレルギー・病気等	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(_____)		
上記の者が2016年度教師海外研修に参加することを推薦します。			
学校名			
学校長氏名	印		

お申込み・問い合わせ

(NPO法人)沖縄NGOセンター 住所: 〒901-2211 宜野湾市宜野湾3-23-52
 TEL: 098-892-4758 FAX: 098-892-9908 Email: onc@oki-ngo.org 担当: 中村
 応募用紙に記載の個人情報、国際理解教育・開発教育および教師海外参加者の選考のみ使用致します。

2016年度 教師海外研修

派遣国: ラオス

**派遣者
募集
5/13(金)
必着**

ສະບາຍດີ.
サバイディー。こんにちは



ラオス研修において

- ①現地の生活・文化やJICAの青年海外協力隊等の国際協力活動視察、②現地の子どもへの簡易な模擬授業や沖縄の紹介、③現地の子どもや教員との交流、④振り返りや授業・教材案の検討、現地報告書の作成、など
- * 学習・報告テーマは「歴史や自然」「生活」「子ども」「世界で活躍する日本人」等が想定されます
- * 事前・事後研修。帰国後の授業実践・教材開発も行っています。



共催: JICA沖縄国際センター
 後援: 沖縄県教育委員会、外務省、文部科学省



研修のねらい

- ①海外研修や事前・事後研修の経験を活用して授業を改善する。
 - ②県内の中核人材として、授業実践結果を学校内外の教員等に共有するとともに、未参加教員もすぐに活用できる授業案・教材を開発する。
- * 上記は参加年度以降も継続的に行っていただくことが期待されます。



応募資格



(1) 応募資格について: 以下をお読みになり、お申し込み願います。

- ① 沖縄県内の国公立、私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校の教師及び教育委員会の指導主事
- ② 応募締切りの時点で年齢が原則満50歳以下および本採用後教員経験が2年以上の方。
- ③ 参加に当たって所属長の推薦が得られる方。
- ④ 原則、JICA が実施している教師海外研修、ボランティア、専門家、国際協力レポーター(ODA 民間モニター)等 JICA から海外に派遣された経験がないこと。
- ⑤ 教師海外研修の目的・内容に賛同し、本研修実施側の指示に従いつつ参加年度内の全プログラムにポジティブ・積極的に参加でき、かつ研修後もJICAの開発教育支援事業に協力可能な方。
- ⑥ 授業または課外活動で国際理解教育を実践されている方。
- ⑦ 年度内に所属校内の他教員に研修成果を共有し、校内研修としてJICAの国際理解教育講座を申請できる方。
- ⑧ 本研修の連絡調整の効率化のため、パソコンメールアドレスでの適時の連絡が可能なこと。
- ⑨ 心身ともに健康な方。またバイタリティ、協調性のある方(特に海外研修中の節度ある飲酒、また禁酒日も設定予定)
- ⑩ 研修中の写真や開発した教材・資料などをJICAの事業・広報に活用することに同意できる方
- ⑪ 海外研修のみではなく、左記の全日程への参加が条件となりますので、応募前に部活・行事等のご確認・調整等、各自をお願いします。また、年間通しての実践授業・教材作成と活動も多岐に渡りますので、初任者・5年・10年研修等との併用はご遠慮下さい。

(2) 応募方法・締切、選考通知: 必要事項をすべて記入した所定の応募用紙と同用紙内設問への回答を、申込み先に、郵送または持参で提出願います。応募締切は、5月13日(金)必着です。書類審査、面接審査の結果をまとめて5月下旬に文書にて通知します。
※書類審査合格者のみ、面接をJICA沖縄にて5月26・27日(木・金)(9:30~18:00)に行います。スケジュールは当方で決めて書類審査合格者のみに5月20日までにご連絡します。離島にお住まいの方は電話面接になります。

参加費用

<JICA負担>

海外研修への往復渡航費、海外旅行保険、海外旅行雑費(査証料、空港使用料のみ)、海外研修の公式プログラムに必要な交通費等、離島参加者の沖縄本島への往復渡航費・宿泊費(実費)

<参加者個人負担>

海外研修中の食費・宿泊費(実費、原則2名1室)、パスポート取得費用、予防接種代、追加保険の掛け金等(必要に応じて)、海外研修時の観光地等入場料、沖縄本島内での交通費、その他の支出

研修の内容と日程

* 年間(平成27年6月~平成28年3月): 渡航前の情報収集・準備、授業・教材案作成、授業実践、実践後の実践・教材集の完成(参加者間で協力しつつ各自で遂行します)

日程 *時間は予定	内容(予定) 場所:記載がない国内はJICA沖縄
~第1回派遣前研修まで	各自での、パスポート取得、派遣国の情報収集、帰国後の授業実践アイデアや海外研修で収集したい情報等の検討
2016年6月18日(土) 9:30~17:30	第1回 派遣前研修 教師海外研修の概要・渡航前準備事項・参加者間役割分担の説明、派遣国の紹介、過年度参加者体験談、等
2016年7月2日(土) 9:30~17:30	第2回 派遣前研修 各種渡航に必要な書類の完成、帰国後の授業実践アイデアや海外研修内容検討
2016年7月23・24日(土・日) 9:30~17:30	第3回 派遣前研修 ※国際理解教育指導者養成講座と合同実施 国際理解教育参加型ワークショップ・教材の体験、国際協力概論
2016年7月26日~8月6日 (11泊12日)	海外研修(派遣先:ラオス国)
2016年8月18日(木) 時間調整中	沖縄県教育庁における海外研修結果報告
2016年8月19・20日(金・土) 9:30~17:30	第1回 派遣後研修 ※国際理解教育指導者養成講座と合同実施 海外研修報告、教材案の作成・発表・意見交換、ワークショップ・教材の体験等
調整中(10月後半~11月の 土・日9:00~18:30)	海外研修結果や実践進捗の発表、参加型ワークショップの実施 * 土日のおきなわ国際協力・交流フェスティバル内(場所はJICA沖縄を予定)。
調整中(11月中) 9:30~17:30	第2回 派遣後研修 ※国際理解教育指導者養成講座と合同実施 授業実践の進捗・課題の報告・意見交換、追加のワークショップ・教材の体験
2017年1月	授業実践・教材集の初案の提出
2017年2月11日(土)予定 9:30~17:30	第3回 派遣後研修 ※国際理解教育指導者養成講座と合同実施 授業実践結果の報告・意見交換、今年度の振り返りや来年度への提言等
2017年2月	授業実践・教材集の最終版の提出

お申込み・問合せ

(NPO法人)沖縄NGOセンター
住所: 〒901-2211 宜野湾市宜野湾3-23-52
TEL: 098-892-4758
FAX: 098-892-9908
Email: onc@oki-ngo.org
担当: 中村

昨年度参加者の声

後発開発途上国として、アジアの中でも最も貧しいとされているラオス。実際に行ってみて経験してみたらこの学びも多く、私自身色々考えさせられました。それを授業を通して子ども達に伝えられたことは、子ども達の視野を広げるいいきっかけになりました。『百聞は一見に如かず!』ぜひ、参加してみたいかがでしょうか?
(浦添市立浦添小学校 根本大輔教諭)



2015年 ラオス国 現地研修風景

豊かではない環境の中にも、互いに助けあう沖縄の“ゆいまーる”の心がそこにはありました。家族想いで純粋な瞳が印象的な子ども達との出逢いからは、沢山の希望や夢をもらいました。その夢や希望を叶えるためにも、健康であることが大切!日々の生活を見つめ直し、教師として子ども達に伝えたいことを、この研修で見つけました。
(宮古島市立上野小学校 末吉明奈教諭)

ラオスは、自然豊かな国で、人々もゆったりとした生活を送っています。その一方で道路や建設工事、外資系企業の進出などめまぐるしい発展を見て、様々なことを感じる事が出来ます。また、ラオスやJICAボランティアさんとの出会いや文化に触れ、新たな価値観を得ることができました!この体験を日々の授業に結び付けた指導もできました。
(那覇市立寄宮中学校 大城育美教諭)

